

処分組合ニュース

発行：東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合

【事務局】〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
ホームページ <http://www.tokyo-shobunkumiai.com> メールアドレス sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com

特別地方
公共団体

八王子市 昭島市 東村山市 清瀬市 西東京市
立川市 調布市 国分寺市 東久留米市 瑞穂町
武蔵野市 町田市 国立市 武蔵村山市
三鷹市 小金井市 福生市 多摩市
青梅市 小平市 狛江市 稲城市
府中市 日野市 東大和市 羽村市

処分組合は組織団体からの負担金で運営されています

「処分組合」とは…?

二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、多摩地域25市1町の約390万人の可燃ごみ焼却灰や不燃ごみを、日の出町のみなさまの協力を得ながら埋立処分しています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

主な記事

- 【1面】多摩地域の「ごみの減量化計画」まとまる
- 【2・3面】多摩地域住民みんなで、資源循環型社会を実現!
- 【4面】見学会レポート、日の出だより、議会だよりなど



処分組合が第3次廃棄物減容(量)化基本計画を策定 多摩地域の「ごみの減量化計画」まとまる

搬入されたごみの量は前年より11.2%減少

■多摩地域の人口と平成16年度の二ツ塚処分場への廃棄物搬入容量

※人口は、住民基本台帳による人口(東京都総務局統計部発行、平成17年8月1日現在)。
※搬入量は、各組織団体から二ツ塚処分場に搬入されたごみ焼却灰と不燃ごみの合計。

組織団体	人口	搬入量 (m ³)	組織団体	人口	搬入量 (m ³)
八王子市	544,707	19,125	国分寺市	115,427	2,703
立川市	172,772	5,809	国立市	73,504	1,029
武蔵野市	135,583	3,283	福生市	61,632	1,852
三鷹市	174,351	3,113	狛江市	77,084	791
青梅市	140,829	4,224	東大和市	80,993	2,288
府中市	241,372	3,623	清瀬市	73,397	2,301
昭島市	111,382	2,713	東久留米市	115,952	3,811
調布市	212,833	3,839	武蔵村山市	67,735	1,754
町田市	407,932	11,191	多摩市	143,706	4,044
小金井市	111,713	4,040	稲城市	76,341	830
小平市	180,513	4,597	羽村市	57,091	1,558
日野市	171,845	4,605	西東京市	188,962	6,235
東村山市	146,580	4,496	瑞穂町	34,604	1,709

平成16年度 二ツ塚処分場に搬入されたごみの量 合計 105,563m³

みんなの力で進めるごみの減量・資源化

処分組合では、平成4年度に第1次、また平成10年度に第2次の「廃棄物減容(量)化基本計画」を策定し、計画的にごみの減量化を図ってきました。計画は着実に成果をあげ、平成16年度は前年度に比べて11.2%もごみ搬入量を削減できました。

ごみ有料化の進展やエコセメント化施設の稼働など、ごみ処理をめぐる環境の変化に伴い、このたび「第3次廃棄物減容(量)化基本計画」を策定しました。多摩地域25市1町の約390万人のみなさんの協力を得て、ごみの減量・資源化を実現させていきます。

【第3次廃棄物減容(量)化基本計画の概要】

■計画の目的

- 【1】二ツ塚処分場の埋立容量の有効活用
二ツ塚処分場の限りある埋立容量をできるだけ有効に活用し、使用年数の延伸を図る
- 【2】組織団体のごみ減量のさらなる推進
最近のごみ減量の動きを踏まえ、着実な減容(量)効果の発揮につながるような仕組みを導入する
- 【3】エコセメント化施設の
既定かつ効率的な運用
可燃ごみ焼却灰の全量を資源化することで、処分場への負荷を軽減し、有効利用を図る

■計画期間

平成18年度から平成22年度の5年間

■対象団体

処分組合および組織団体25市1町

■対象範囲

処分組合が行う二ツ塚処分場埋立管理事業、およびエコセメント化事業

■減容(量)化計画目標

平成22年度末において二ツ塚処分場の埋立進捗率を50%以下に抑制する

※埋立進捗率=処分場が埋め立てられてしまった割合

エコセメント 通信



エコセメント化施設の建設工事は順調に進行中

処分組合では、ごみの焼却灰からセメントを作る「エコセメント事業」に取り組んでいます。来春の稼働に向けて、二ツ塚処分場内でエコセメント化施設の建設工事が順調に進行しています。

原料を焼成するロータリーキルン(焼成炉)や排ガス冷却設備、エコ

セメントを仕上げるクリンカ粉碎棟など、現在、施設の建築工事は7割程度進捗しています。焼却灰を受け入れる受入棟の屋上には緑地も整備されています。これからは、各種機械の搬入や設置、コンピュータや電気系統の整備といった、建物内部の整備が行われていきます。



建設中のエコセメント化施設(平成17年9月撮影)。

多摩地域住民みんな、資源循環型社会を実現!

みなさんのご協力のもと、処分組合では処分場の管理・運営や自然回復とともにエコセメント事業に取り組み、資源循環型社会づくりをめざしています。



環境への意識

処分場は約39%が埋立済み、一人ひとりの取り組みでごみの資源化と減量を!

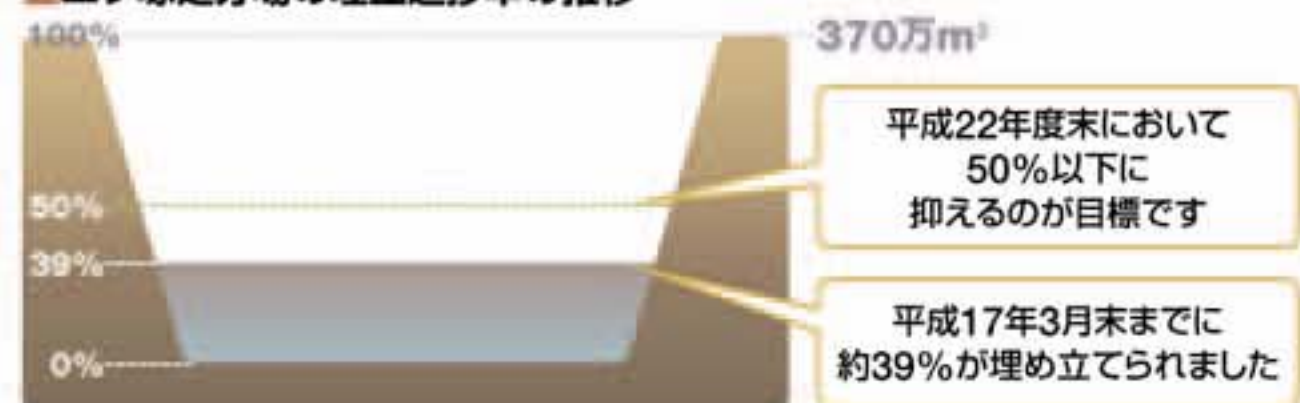
現在、多摩地域25市1町で収集される可燃ごみ焼却灰と不燃ごみは、二ツ塚処分場に埋め立てられています。しかし、この処分場も、平成17年3月末までには埋立区域全体の約39%が埋め立てられました。

平成18年度から始まる「第3次廃棄物減容(量)化基本計画」は、この埋立進捗率を平成22年度末まで50%以下に抑えることが目標です。そのた

めに各市町の二ツ塚処分場への搬入配分量を人口なども考慮したうえで設定し、超過金や貢献金制度を設けて計画的にごみの減量化を進めます。

この搬入配分量を守るためにも、多摩地域住民一人ひとりが、ごみの減量やリサイクルの徹底を心がけることが必要です。再利用できるごみはきちんと分別し、資源循環型の社会づくりを進めていきましょう。

二ツ塚処分場の埋立進捗率の推移



二ツ塚処分場の埋立面積は18.4ヘクタール、総埋立容量は370万m³です。平成10年1月から埋立を開始し、平成17年3月末までに約39%が埋め立てられました。埋め立てるごみの量を減らし、平成22年度末には埋立進捗率を50%以下に抑えるのが目標です。



二ツ塚処分場の埋立の様子。

物質循環

ごみ焼却灰を資源として活用するエコセメント事業を推進

二ツ塚処分場の限られた埋立容量を有効に利用するために、処分組合では「エコセメント事業」に取り組んでいます。来春の施設稼働に向けて、全力で準備を進めています。

現在、二ツ塚処分場で埋立処分されるごみの約8割は可燃ごみの焼却灰です。エコセメントはこの焼却灰をリサイクルしてセメントに利用するもので、施設の稼働が始まれば1日平均

300トンの焼却灰を処理し、約430トンのエコセメントが生産される予定です。

この事業を進めることで、埋立処分するのは不燃ごみだけとなり、二ツ塚処分場の使用期間を大幅に延ばすことができます。また、ごみ焼却灰がエコセメントという形で建物や道路になって利用される「物質循環」のしくみが構築され、多摩地域が資源循環型社会のモデルケースとなるのです。



エコセメント化施設の建設工事が着々と進んでいます。

エコセメント化施設全体の完成予定図。

自然回復

埋立が終了したエリアを引き続き調査・維持管理しています

谷戸沢処分場は昭和59年から14年間にわたり、多摩地域のごみの埋立処分場として使用されてきました。平成10年に埋立は終了しましたが、その後も処分組合では引き続き適切な維持管理を行っています。

埋立跡地は22ヘクタールの広大な草原になり、多彩な動植物が棲息しています。また、清流復活事業として貯水池を設けることで、セキレイ類や

タヒバリなど水辺を好む鳥類やトンボ類が増えました。生態モニタリング調査では、1000種以上の昆虫類、100種以上の鳥類が確認されています。処分場の周辺には現在も、日の出町の天然記念物・トウキョウサンショウウオやモリアオガエルが棲息しています。このような多様な動植物が暮らす自然環境が谷戸沢処分場では守られています。



谷戸沢処分場にごみが埋め立てられていた様子(平成8年3月撮影)。

自然回復が進む谷戸沢処分場(平成17年8月撮影)。



ものを種類によって分けることを「分別」といいます。ごみの分別とは、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「有害ごみ」などに分けることです。種類を分けると、もう一度使うことができたり、別なものの原料としてリサイクルすることができます。使えるものを分けて、ごみをできるだけ少なくすれば、最後に埋め立てるごみの量も減らせます。地域によってごみの分別のしかたは違います。自分たちの住む市や町では、ごみをどのように分別しているか調べてみましょう。



多摩環境新時代を象徴するエコセメント

資源循環型社会づくりの先駆けとして全国をリードする多摩地域が、日の出町の協力を得て取り組む、ごみ減量の新たな試み。それが「エコセメント事業」です。



エコセメントとは?

「エコセメント」とは、ごみを燃やした後に残る焼却灰を原料として作られる新しいタイプのセメントです。エコロジーの「エコ」と「セメント」から「エコセメント」と名付けられました。平成14年7月には日本工業規格(JIS)に定められ、その安全性が確認されている土木建築資材です。二ツ塚処分場では、これまで埋め立て

エコセメントの性質は?

エコセメントは、その特徴によって普通エコセメントと速硬エコセメントの2種類に分類されます。二ツ塚処分場のエコセメント化施設で製造されるのは普通エコセメントです。普通エコセメントを用いたコンクリートは、普通セメントを用いた場合とほぼ同等の性質を持っていて、十分な強度、耐久性があることが確認されています。

どのような用途に使われるの?

エコセメントは普通セメントと変わらない性質のため、同じような分野で使用することができます。具体的には、鉄筋コンクリートへの利用や道路の側溝、緑石といった土木・建築工事、ブロックやベンチといったコンクリート製品の資材など、さまざまな用途に使われます。

来春より施設が稼働すると、多摩地域の



エコセメントの車止め。

道路の側溝。

安全性は?

エコセメントは、その安全性が十分に確認された資材です。開発段階からエコセメント製品の溶出試験が実施され、廃棄物学会などでも酸性雨などの影響で溶け出すことがないか、その安全性に対する検討は機たびも重ねられてきました。

また、その製造過程においても、ダイオキシン類や重金属類を処理するために、万全の対策がとられています。ダイオキシン類は、1,350℃以上の高温で焼成することで分解、無害化します。また、このときに発生す

エコセメントが廃材になったら?

10年後、20年後、50年後……もしエコセメントを使ったコンクリートが廃材になった場合も、リサイクルが可能です。安全性にはまったく問題なく、一般のコンクリート廃材と同様に、再生骨材等としての再利用が可能です。



再生骨材としての再利用が可能なコンクリート廃材の処理の様子。

見学会

レポート



毎年恒例の「夏休み見学会」を行いました

毎年好評をいただいている夏休み処分場見学会を、8月5日(金)および22日(月)に実施しました。

午前中は、多摩地域の清掃工場でごみが焼却される様子を見学し、午後には日の出町の二ツ塚処分場と谷戸沢処分場を見学。二ツ塚処分場では室内での事業説明の後に、埋立の現場と建設中のエコセメント化施設を見学しました。その後、すでに埋立を終了した谷戸沢処分場に移動して、日の出町のボランティアである環境指導員の案内で谷戸沢記念館展示室を見学し、自然観察路を散策。自然回復が進む谷戸沢処分場では、歩きながら昆虫を探したり、野鳥観察をする子どもたちもいました。

谷戸沢処分場では自然観察路を見学。



二ツ塚処分場で説明を聞く参加者のみなさん。

日の出だより

日の出町

NO.27

多摩地域 東京都 区部

春日神社祭礼「鳳凰の舞」

日の出町に秋の到来を告げる春日神社祭礼は、神輿や山車が町内を練り歩き、「鳳凰の舞」が奉納されます。鳳凰の舞は、上方と江戸の要素をあわせ持つ貴重な民俗芸能で、昭和28年には東京都無形民俗文化財に指定されています。

- 開催日 平成17年10月1日(土)～10月2日(日)
- 場所 春日神社 他



春日神社祭礼で奉納される鳳凰の舞。

合併50周年記念事業 第17回「産業まつり」を開催

地元商店をはじめ、町内で生産された自慢の農産物や特産品を直売する店が多数出店。一般参加者によるステージショーや子ども達が楽しめる企画も準備し、みなさんのご来場をお待ちしています。

- 開催日 平成17年11月5日(土)～11月6日(日)
午前10時～午後4時
- 場所 日の出町民グランド



第17回産業まつりが立ち上げます。

上記に関するお問い合わせ先

ホームページ
日の出町役場 経済課商工観光係

<http://www.town.hinode.tokyo.jp>
TEL.042-597-0511(内線241・242)

処分組合の動き

- 7月28日(木) 第29回谷戸沢処分場環境影響評価委員会
- 8月18日(木) 二ツ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査実施
～25日(木)
- 8月30日(火) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
- 8月31日(水) 第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
- 9月 9日(金) 谷戸沢・二ツ塚処分場水質等調査結果公表(平成17年度第1四半期分)

【谷戸沢処分場環境影響評価委員会】

地元住民および学識経験者のみなさんによる組織。谷戸沢処分場における調査方法の助言や調査結果の報告・検討などを行っています。

【谷戸沢処分場監視委員会・二ツ塚処分場対策委員会】

地元自治会のみなさんによる組織。処分場の埋立作業や環境調査等に立ち会っていただくほか、調査結果や安全対策等について、継続的に意見交換を実施。

組合議会だより

処分組合議会の議員は、多摩地域25市1町の議会議員の中から選出されています。

処分組合議会の、平成17年第1回臨時会が7月27日に開かれました。当日は、議長、副議長などの選出が行われ、以下の案件について審議しました。

議案と審議結果

件名	議決結果
監査委員(議会選出)の選任につき同意を求めることについて	同意

就任の挨拶

議長：佐藤茂也(国分寺市)

日の出町の皆様には、処分場並びに本組合議会の運営に特段のご理解とご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

さて、待望のエコセメント化事業がいよいよ来春稼働の予定です。これにより本組合は新しい段階を迎えますが、議会としても引き続きごみ減量はもとより、環境対策や処分場の安全確保など、諸課題の解決に全力を尽す所存です。関係各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、議長就任のご挨拶と致します。



副議長：塚本秀雄(八王子市)

日頃、日の出町の皆様には処分組合にご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、多摩地域のごみについては有料化・資源化の拡充などの取り組みを進めることで、ごみの大幅な減量に向けて一段とその速度を早め、全国の模範となっているところであります。

さらに明年にはエコセメント事業がスタートすることで、わが国におけるごみの最終処分の方々に大きな影響を与えることになると思われまます。

組合議会としても、皆様のご協力をいただきながら「資源循環型社会」の形成に向けて更に前進してまいる決意です。



三多摩は一つなり交流事業

最終処分場を受け入れていただいている日の出町の方々と多摩地域の住民との交流や相互理解を目的として「三多摩は一つなり交流事業」が行われています。処分組合では、年10回程度実施されるこの事業を支援しています。

ホームページをご覧ください

<http://www.tokyo-shobunkumiai.com>

処分組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。クイズに挑戦しながら「ごみ処理」について知ることができるコーナーも好評です。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先

TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449

処分組合ニュースの内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合「処分組合ニュース係」

【メールアドレス】 sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com